

## 9月定例教育委員会議事録

- 1 日 時 平成26年9月24日(水) 午前10時00分から午前11時35分
- 2 場 所 宗像市役所本館3階301会議室
- 3 出席委員 委員長 井上裕之  
委員 川上美子  
委員 中岡政剛  
委員 宮司葉子  
教育長 遠矢修
- 4 その他の出席者 教育部長高橋勇次、市民協働・環境部理事兼文化・スポーツ推進課長磯部輝美、市民協働・環境部理事鶴英樹、子ども部長柴田祐治、教育部主幹指導主事齊藤智恵美、教育政策課長岡田光晴、教育政策課指導主事高木陽一郎、教育政策課指導主事西島潔、教育政策課指導主事正路澄代、学校管理課長衣笠哲哉、学校管理課給食係企画主査石松敦子、学校管理課主任管理栄養士柴田道世、子ども育成課長中野万由美、子ども育成課社会教育主事久保謙司、図書課長長谷川慎、郷土文化交流課長清水比呂之、コミュニティ・協働推進課参事村上治彦、経営企画部世界遺産登録推進係長山口哲司、教育政策課政策係長許斐知加、教育政策課政策係企画主査船越健樹、教育政策課教育連携コーディネーター田中雅子  
※ 傍聴 なし

## 5 前回(8/18定例)議事録の承認(資料1)

## 6 審議事項

## ① 議案第29号 宗像市学校教育基本計画骨子(案)について(資料2)

## 《承認》

【遠矢教育長】 資料2参照。議事録なし。(▲30秒)

【齋藤主幹指導主事指導主事】 前回の教育委員会で報告した骨子案を修正している部分が17ページからになりますが、庁内での協議で、宗像市の学校教育の現状と課題を最初に提示した方がいいのではないかとありましたので、ここに4番という項目で、宗像市の学校教育の現状と課題という事で差し込んでいます。22ページでは、目指す子ども像の中に学校、家庭、地域の役割も含めておりましたけれども、目指す子ども像にはそぐわないのではないかとというご意見いただいておりましたので、目指す子ども像だけを取り出し、そのあとを学校、家庭、地域の目指す姿という事で項目を起こしました。24ページの施策の一覧の中にグローバル人材の育成というのは、宗像の大きな取り組みであり、確かな学力だけではないのではないかとという事で、この後の施策の項目の中で示していこうと思っております。前回、川上委員に、目指す家庭像の中に「家庭が安心できる場所であってほしい」ということをぜひ盛り込んでほしいというご意見をいただいておりましたが、ここにあげております目指す学校像、家庭像、地域像につきましては、小中一貫教育

基本方針の答申と整合性をとっておりますので、そこではなく、それぞれの項目の中で、家庭地域の役割を明示する中の家庭の役割の中に「家庭が安心できる場所にする」という文言をいれて作成しているところです。子どもたちの豊かな心に関わることでありますが、中岡委員からご意見いただいております。立志の精神等については、豊かな心を育む教育活動の充実の中にある「豊かな心育成総合プロジェクトに基づく心の力の育成」という項目の中に盛り込んで作成をしていきたいと思っております。

この計画には「教育〇〇プラン」という名称がついていないのですが、皆さんに読んでいただけるような、それから、これを基に毎年度の計画を示していくときも使えるようないいネーミングがないかなという事で模索しているところです。何かいいアイデアが頂けたらと思っているところです。

【井上委員長】 これは、副題も一緒に入れるようにした方がいいという事ですか？

【齋藤主幹指導主事】 そうした方が伝わるかなという事で入っていますけれども、必ずいるという事ではないです。内容とかを簡単に表わせればという事で検討しております。

【井上委員長】 いつぐらいまでに名称を決めたらよいのでしょうか

【齋藤主幹指導主事】 10月、11月くらいまでに確定していただきたいと思っております。

【中岡委員】 現状と課題のところでは2点ですが、1点目は(3)の豊かな心を育む教育活動についての4番目に「不登校を含めた児童生徒の問題行動については」という記述が少し気になります。「含めた児童生徒の」となると問題行動の中に不登校も入るという解釈になるので、「不登校や」と修正すると、問題行動と不登校とが区別できるのではと思います。2点目は、19ページ(6)の学校経営の充実についての課題のところでは、要望苦情が一番目に挙がってくるという項目は、下の方がいいと思っております。

【齋藤主幹指導主事】 検討します。

【井上委員長】 6番に基本方針とあって(1)だけです。(1)があると(2)があるかと思っておりますので、(1)しかないのならば、(1)は必要ないのではないかと。

【齋藤主幹指導主事】 6番だけ1つだったので、表記を迷っていましたが検討します。

【中岡委員】 23ページの具体的な取り組みのところでは、「各学校において特色ある教育活動」とありますが、このプランから言うと25ページ自立しかかわりを深める子どもの育成の基本的方向性であり、重点施策であると思っておりますので、文言を「自立しかかわりを深める子どもの育成を目指す教育活動」とした方が良いのではと思います。

【川上委員】 教育基本計画については、全体を把握しないと、各箇所の課題が見えないので、次回の提案時には早めに資料を頂きたいと思っております。

【齋藤主幹指導主事】 本日いただいた全てのご意見について検討し、できるだけ早めに案をお渡ししたいと考えております。

【井上委員長】 議案29号について承認いただけますか。

【各委員】 はい。

- ② 議案第30号 宗像市立学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について  
(資料3)《承認》

- 【遠矢教育長】 資料3参照。議事録なし。(▲30秒)  
【教育政策課長】 資料3参照。議事録なし。(▲1分20秒)  
【井上委員長】 議案30号について承認いただけますか。  
【各委員】 はい。

③ 議案第31号 宗像市郷土文化学習交流館協議会委員の選任(案)について (資料4)  
〈承認〉

- 【遠矢教育長】 資料4参照。議事録なし。(▲30秒)  
【郷土文化交流課長】 資料4参照。議事録なし。(▲1分20秒)  
【井上委員長】 議案31号について承認いただけますか。  
【各委員】 はい。

## 報告事項

### ①行政報告 (資料5)

【遠矢教育長】 8月19日から8月26日まで宗像市少年少女海外派遣研修団でニュージーランド研修に団長として行ってまいりました。子どもたちはマウントロスキル校と交流し、現地の歴史文化を学び交流ができたのではないかと思います。14日の事後研修報告会では保護者の方もお越しになりました。年明けの1月下旬に小学校のイングリッシュサマーキャンプ、高校生カナダ研修と併せまして発表の機会を設けたいと思っております。今月9月の26日から30日まで、マウントロスキル校の先生・生徒が訪日され、宗像市の子どもたちの家庭にホームステイするプログラムが計画されております。議会が9月1日から始まりました。全国の学力学習調査の公表については、これまで同様全体の報告はするけれども、個別の報告はしないという事で、今回の議会でも同様にそのような答弁をしております。9月6日の防災訓練では、ほとんどの児童生徒、教職員が参加して十分な訓練ができたのではないかと考えています。9月10日学校の日には地島小学校を訪問し、漁村留学生在が居住している施設なども見てまいりました。現在5名の漁村留学生在がおります。子どもたちは9月の下旬に運動会がありますので、その練習を一生懸命やっております。

### ②後援報告 (資料6)

資料6参照 議事録なし

### ③平成26年度全国学力・学習状況調査結果について (資料7)

資料7参照 議事録なし (▲5分)

### ④平成26年度教育評価委員会について (当日配布資料)

【教育政策課政策係長】 平成26年度の点検評価につきましては、4月、5月の定例教育委員会でご協議頂き、これを踏まえまして9月18日に第1回の評価委員会が開催されましたのでご報告します。まず評価の概要ですが、評価基準と評価のまとめまでの流れ、評価の方法についてはこ

れまでどおりとし、変更点は、評価の期間を4年から3年に、それから評価の対象の除外基準を若干追加した点がございます。これまでは法的に義務付けられているもの、それから着工済み、実施設計済みのハード事業、それから期間満了または廃止予定の事業を除外としておりましたが、これに、就学援助などの扶助的な性質を持つ事業、施設の維持管理や事務経費のみ計上されているものを原則対象外として追加することにしました。なお施設の維持管理につきましては一つの事業について、評価委員会で内容を確認して、手法として市民参画などの方法を取り入れているものについては、評価の対象とし、除外しないとしております。その結果、平成25年度に所管する73事業のうち42事業を対象とし、今年度は、このうち8事業を点検評価することになりました。教育委員会の報告につきましては、1月の定例会議に行うようにしております。委員長に井上教授、副委員長に堺教授に決定しました。

⑤宗像市スポーツ推進計画(案)に関するパブリックコメントの実施状況について(資料8)

【文化・スポーツ推進課長】 本年7月17日から8月15日までの30日間で実施しました。意見提出状況としましては、69名の方が79件意見を出されておりました。分類としては、計画全般に対して8件、施設整備について69件、行政手続きについて2件です。施設整備の意見では、野球場関係が多く、今最終的に施設整備の対応について検討している段階ですが、8月15日に締め切っておりますので、パブリックコメントの状況を報告しました。パブコメの修正等につきましては、整い次第、教育委員会に報告したいと思います。

【井上委員長】 最終の報告は次回の教育委員会くらいですか。

【文化・スポーツ推進課長】 次回もしくは11月になるかもしれません。

⑥スポーツ振興くじ助成によるスポーツと地域の活性化に関する調査研究について(資料9)

【文化・スポーツ推進課長】 日本スポーツ振興センターという文科省の外郭団体がございまして、この調査研究事業に応募しておりました。全国で12団体が選ばれております。健康づくりと、スポーツツーリズムの2つの研究テーマで、27年度以降のスポーツ推進計画の部分を前倒しするような形で取り組みを進めることになろうかと思っております。補助金は全額補助で254万7千円いただいております。全国の先進事例調査、福岡教育大学と日赤看護大学も一緒に入って検討会議をそれぞれ設け半年程度でやることになっております。

⑦宗像市学校給食食物アレルギー対応児童生徒数推移について(資料10)

【主任管理栄養士】 53ページのグラフは、平成21年度から平成26年度までの食物アレルギー対応児童生徒数の推移で、小学校中学校共に毎年増加傾向にございます。児童生徒数に対するアレルギーがあるといわれている人数は2.2%です。国が調査しました平成19年度の数字ですと全国では2.6%です。年度が古く単純に比較できませんが参考までに数字を挙げさせていただきます。エピペンの処方に関しましては、小学校で12名、中学校で3名の処方になっております。エピペンといいますのは、アレルギーによるアナフィラキシーショックを起こした場合に備えて、医師が処方するアドレナリン自己注射製剤のことです。基本的にはアナフィラキシーショックを起こした時に自分で注射するようになっておりますが、学校における医師法の解釈

の中で学校の関係者が、児童生徒に注射することは法律違反ではないという解釈で実施されております。宗像市学校給食における食物アレルギー対応マニュアルの抜粋です。食物アレルギーの児童生徒に対する対応については、この表のとおり実態把握を行い、対応の決定をいたしましたら、日々の給食の中ではこのような作業工程表というのを作りまして、給食の調理にあたっております。

【中岡委員】 12月に教育政策課の就学時健康診断票で、あると回答した人に調査票を渡してその場で回収とあります。で、学校の方は、入学予定者のアレルギー状態を把握しておくとして次に入ってきておりますが、右の中学の方では、学校管理課は①で回収した調査票を各中学校へ送付と、ここの流れが中学校の方に送付されることはよくわかりましたが、小学校の方はその場で回収されたものが、どうなっているのかという事が不明ですが、学校へ送付されるのでしょうか？

【主任管理栄養士】 言われる通り、マニュアルの記載がすごく不足しております。その場で回収して、各学校の方に送付しまして、事前に準備をしていただいております。次の改訂の際にはわかりやすい記載にしたいと思います。

【川上委員】 児童生徒数は毎年減ってきていたと思うのですが、アレルギー対応児童は増えているので、出現率で表したらかなりの増加がみられるんじゃないかなと思います。よかったら次回は出現率を示してもらおうと、より顕著にわかるかなと思うのでお願いしたいと思います。

#### ⑧学校給食費の納入状況について（資料11）

【学校管理課給食係企画】 学校給食費の納入状況についてご報告いたします。平成25年度昨年度になりますが、学校給食費の25年度の納入状況は99.7%となっております。平成25年度すべての滞納分を含めた給食費の集計は2番に表している通りとなっております。滞納世帯数につきましては、25年度は45世帯が滞納となっております。児童手当からの学校給食費への特別徴収状況とありますが、年に3回実施しております153万4030円となっております。学校と協力しまして滞納家庭に給食費の納入指導に家庭訪問し、児童手当からの徴収を推進するために「児童手当に係る学校給食費等の徴収等に関する申出書」を提出してもらっております。だいたい年間100件程度家庭訪問をしております。また、宗像簡易裁判所へ支払い督促を申し立て、昨年度に関しましては2回支払い督促をしております。

【井上委員長】 学校給食費の滞納処理は本当に大変だと思うんですが、宗像市は毅然とした態度で接している成果が出ており、児童手当の徴収というのは大きいですね。

【学校管理課長】 児童手当からの徴収は24年度からマニュアルに基づいて実施しているものです。

【宮司委員】 学校給食費滞納の実態の58ページの表で、不納欠損額というのは、これはどうしても徴収できないという区別をしているのですか。

【学校管理課給食係企画】 不納欠損に関しましては行方不明者や家庭状況でどうしても支払えない場合に学校と協議し、学校の判断で不納欠損としております。

【学校管理課長】 平成20年度、22年度と比べて額が少額となっております。学校運営に関する学校給食となるのですが、学校と協議して、支払いが可能な分については、欠損ではなく

支払い督促などの措置を取っております。

【教育部長】市の毅然とした態度を見せていくというのがいい効果を表わしているのではないかなと思います。現在3件ほど提訴していますけれども、裁判に入る前に和解という形でお支払いいただくという状況になっております。

#### ⑨平成26年度「ふく・郷土料理給食」の実施について（資料12）

【学校管理課給食係両主査】11月28日金曜日「いいふく」の日の前日になりますが、ふく・郷土料理給食を実施します。学校給食が日ごろから地場産物を利用し郷土料理の提供をしていますが、福岡県では11月を食育地産地消強化月間としており、宗像市でもさらなる取り組みを行うものです。児童生徒が地元の農水産物について学び、実際に味わう事で、市の食育計画の目指す姿である「自らの食を楽しむ子どもたち」に育つよう、ふくナゲットの提供に併せて実施するものです。主催としましては学校管理課、水産振興課とかいてありますが、ふくについては水産振興課から無償提供でいただきます。ふく給食の対象は、市内15小学校と大島中学校、玄海中学校で、食育授業、会食会場校は河東西小学校にお願いしております。河東西小学校では2年生を対象に食育授業を予定しており、ゲストティーチャーとして宗像漁協、鐘崎ふくはえ縄船団、宗像市観光協会関係者の方から子どもたちに話をいただき、市長、教育長と懇話してふく・郷土料理給食を食べてもらいます。会食会場校以外の学校でも、給食指導の時間にふく・郷土料理、地場産物について学び給食を食べてもらいます。また、中学校においても郷土料理給食を実施していただくようになっています。11月の献立表に宗像育ちと福岡県のロゴマークを入れて活動を推奨するように依頼をしています。

【学校管理課長】郷土料理の良さをアピールして、記者発表も行う予定です。

#### ⑩9月の学校の日について（資料13）

【川上委員】吉武小学校と自由ヶ丘南小学校と河東西小学校3校に行きました。吉武小学校では道徳の授業を拝見しましたが、子どもたちは運動会の練習で多少くたびれている感じがしました。低学年の授業で、姿勢の乱れ等は多少あったのですが、先生方は非常に丁寧な言葉づかい、柔和な表情で、子どもたちを包み込むように指導されてありました。ALTの先生が来て地域の方や保護者が進んで話しかけている様子が何回も見られて吉武地区はALTを今回地域の事業で取り上げられているので、非常にその辺距離が近くなったのかなと感じました。

自由ヶ丘南小学校も道徳の授業を拝見したのですが、6年生は静けさがただよっていて、最初の導入段階でその日の取り上げられるテーマのストーリーを飲み込んでいる状態でした。非常に集中力が高くてびっくりしたのですが、子どもたちは落ち着いて、授業規律が非常によく出来上がっているのかなと感じて校長先生に申し上げたところ、校長先生はまだまだこんなものでは足りないとおっしゃっていて、自ら学ぶ意欲を感じるまなざしにまだなっていないですと言われて、さらにもっと上を目指すために、いろんな授業の在り方を今後も検討していきたいとおっしゃっていました。

河東西小学校では、高学年の帰りの会の様子を拝見しました。自己自尊感情が宗像市は低いという事で、それぞれ帰りの会でその分を高めることで各学年みんな取り組んでいっしょという

事でした。

【中岡委員】吉武小学校、城山中学校、河東中学校の3校に行っていました。吉武小は校長先生とお話ができましたが、地域から学校への支援というのが非常に大きくて助けられているし、また、力強く思っていますとお話がありました。

城山中学校では、教頭先生と話ができました。一部問題を抱えた生徒はやはりいるのですが、学校全体としては落ち着いた雰囲気を持っていますという事でした。生徒たち姿勢もよくて落ち着いた授業がされているなど思ったところです。

河東中学校では、進路学習でたくさんの高校の先生が来られていて授業をしておられました。これは進路学習の一環という事で総合的学習の時間という形でこのような内容の活動を仕組んだという事でした。子どもたちは非常に集中した目をして授業を受けているのが大変印象的でした。帰り際に生徒会担当の先生が職員室横に掲示しております宣誓文を教えてくださいました。本年度の三年生生徒会役員が、昨年2年生の終わりに、新生徒会役員になった折に「変えよう・変えます・変わります」と掲げているとのことでした。本年度の体育祭もこれをテーマにした内容で実行したわけですが、それを終えて体育委員長、それから各ブロックで選出された委員がこの体育祭で得たものを大事に自分たちはこれからも変わっていきますという力強い宣言でした。授業の方ですが、4月、昨年度と比べて随分様変わりした子供たちの姿を見ることができましたので、子どもたちがしっかりと自分たちでどうしていけばいいのかという事を考えていっていると、その成果がここにきて出ているのではないかなというところです。

【宮司委員】東郷小学校に行ってきました。5年生のセカンドスクールの説明会だったので、セカンドスクールの夜はご飯を炊いてカレー作りをしますが、その時に校長先生が、子どもたちがわからなかったら、先生が指示を出すのではなく、子どもたちが分からないなりに子どもたちの中で考えてといく取り組みはすごくいいなと思いを聞いていました。子どもたちも説明をしてくれる先生の目を見て話を聞いていた態度はすごくいいと思いました。中学校は2年生がちょうどワクワクWORKだったので、お店の方に行ったのですが、緊張しつつも楽しそうにしていたのでこの事業はいいと思いました。

【井上委員長】河東小学校、河東中学校、河東西小学校の3校を訪問させていただきました。河東小学校では1校時に除草作業を実施していましたが、校長先生をはじめ、保護者も多数参加されていました。予想以上に保護者の参加が多くてお茶を追加したという話もございました。また教頭先生が中心となって小学校では初めての英語認定をする計画があると校長先生から話がありました。教頭先生の案内で授業を参観しましたが大変落ち着いた雰囲気での授業であったと思いました。河東中学校では、先ほど中岡委員も説明されておりましたが高校の先生方による出前授業が行われていました。普通科の授業では真剣な眼差しで授業を受けておられて、大変好感が持てました。生徒の希望に応じて職業科の授業も計画されているという事でした。このような試みというのが生徒の進路指導の観点からも非常に有意義な企画であるという風に思った次第です。

河東西小学校ですが、体育館で4年生と特別支援学級の子が親子レクレーションを和気あいあいと行っていました。他の保護者もたくさん参加されておりました。校長先生のお話ではICT教育の研究指定を県から受けて、3年間頑張りたいという話でした。

#### ⑪小中一貫教育全国サミットについて（資料14）

【高木指導主事】 小中一貫教育全国サミット in 姫路の最終案内が来ておりますのでご報告いたします。10月30日、31日に姫路で行われます。井上委員長をはじめ、遠矢教育長、齋藤主幹指導主事、それから私の他に学校から5名の申込みがっております。

#### ⑫福岡教育大学との連携事業について（資料15）

【中教教育コーディネーター】 8月7日に第9回宗像地区教育関係者合同研修会が行われました。教育大と宗像市福津市が一緒に行う研修会です。内容は美術教育講座准教授の松久先生が学校で図画工作や書道の授業、図工室の改善等の実践の発表でした。美術教育講座は小学校教科等研修会図画工作の方とも連携が取れるようになり、研修が拡大している感覚を受けました。大学関係者の参加の増加も広報活動に力を入れたら可能ではないかと思えます。外国語教育研修会は講義棟で講義と演習のような授業をしていただきました。森先生には外国語教育は日本としてどのような方向に行っているのかという最新の情報がありませんでした。中島先生は小中学校の英語授業の模範のような授業でした。小学校の先生方は英語の教科化を見据えて真剣に参加されていました。中学校の先生は小学校の英語の授業が変わってくると、1年生に対して今までのような授業ではダメだなという事を実感して帰られた研修になりました。この研修で思ったことですが、小中学校の先生の混合班を中島先生がその場で作られたのですが、自然に小中学校の先生と一緒に研修できるようになってきています。これは小中一貫の各校区でやっている効果だと感じました。活用研修会ではプロジェクトの指導主任者である古川先生に講師をお願いして、最新のパソコンが並んでいる教育大の講義棟で、最新の電子黒板や実物投影機を使って、パワーポイントで自作教材を作る力を先生に身につけてほしいと訴えながらの講義演習でした。選べる夏期講座は、8月25日に行われました。今年度は昨年度より1講座少なく、5講座で開設していましたが参加者数は例年通りでした。初めて参加され、こういう事があるのをはじめて知りましたという先生が多く、校長研修会でもお願いしているのですが、もう少し末端まで届く方法を検討する必要があります。講義は教職大学院との共催事業で、教育大学院の先生方、卒業した若手の先生方、それから学校現場で頑張っている先生方も交えての夏期講座となりました。

#### ⑬その他

##### 平成26年度福岡ブロック社会教育委員会研修会について

【コミュニティ・コーディネーター】 この研修の主催は福岡県社会教育委員連絡協議会が行っております。今回の研修では、市民参画推進審議会の委員が分科会の記録者や責任者というところを担当させていただいております。社会教育委員として審議会の委員がこういった活動をしているという事を報告させていただくものです。

##### オガチマンスイベント中間報告について

【世界遺産登録推進係長】 9月を世界遺産登録強調月間という事で様々なPR事業を実施しております。9月7日に「ミアーレ、川下り大会」、9月13日の宗像三女神姫は、9月21日に宗像大社境内を舞台にした、謎解きクイズ形式にした親子向けのイベントを実施しました。今後9月2



7日から10月3日は灯籠を現在の玄海コミセンから宗像大社辺津宮の間までを約8.0基を飾り、10月1, 2, 3日宗像大社のみあれ祭の秋季大祭期間には19時から21時半までの間海の道むなかた館の壁面に宗像三女神をテーマにした3D映像を当てて、来られた方に宗像大社の駐車場から見えるような形で楽しんでもらうという事で引き続き実施していくようにしております。

第21回ふくおか県民文化祭2014オープニングイベントについて、

【文化・スポーツ推進課長】表題の第21回は、第22回の誤りです。県民文化祭県内各地で行われておりますけれども、オープニングイベントは1ヶ所で行われております。今回は宗像市が会場になります。10月13日10時から宗像ユリックスハーモニーホールで開催しますので、ご案内致します。

秋の特別展「ムナカタ国はあったか」

【郷土文化交流課長】今月の30日から11月の16日まで約1か月半の企画展を進めております。館がオープンして初めてのことになるのですが、日本で一番大きな銅鏡などを展示するようにしております。展示と併せてムナカタ国というものはあったのかという事を検証していくようなそういう内容になっております。9月7日に「いせきんぐ宗像シンポジウム」を開催し、予想以上の約500名の方が参加していただきまして、四国や大阪からの来場者もいました。

【井上委員長】次回の定例教育委員会は、10月21日午前9時30分から市役所本館3階301会議室で行います。

次回開催予定日10月21日(火)午前9時30分開始

平成26年10月21日

井上 裕之

中岡政剛

